

(仮称) 台東区自転車活用推進計画に関する意見交換会 会議録

第2回	
日 時	令和7年8月18日(月) 14:00~14:35
場 所	台東区役所 10階 1001会議室
出席者	【会 長】大森会員 【会 員】稲垣会員、丸会員、三宅会員、飯沼会員、 古谷会員(鈴木係長代理出席)、中居会員(近藤係長代理出席)、 原田(裕)会員、熊倉会員、早津会員、小林会員、中山会員 石渡会員、大谷会員、原田(幸)会員、小柴会員、松野会員、 寺田会員、原島会員 【事 務 局】交通対策課:清水課長、日和佐係長、斉藤主任
議 事	(1) 実施施策について (2) 自転車ネットワーク計画について
配布資料	資料1 次第 資料2 実施施策について 資料3 自転車ネットワーク計画について 資料4 計画策定までのスケジュールについて 資料5 意見交換会会員名簿
会議内容	
1. 開会 【事務局】 本日の意見交換会では、事務局が今後の具体的な実施施策と自転車ネットワーク計画の素案を作成したので、各会員の意見をいただきたい。本日の意見交換会の結果を踏まえ、今後、事務局が中間のまとめ案の作業に取り掛かるため、活発に意見をいただきたい。 2. 会員紹介 【事務局】 前回欠席の会員及び変更になった会員の紹介を行う。 (※会員を紹介) 3. 挨拶 【会 長】 本日は第2回目の意見交換会である。第1回目で基本方針等については会員の方に了解いただいたため、本日は4つの基本方針に基づく具体的な施策と、自転車ネットワーク計画について議論いただく。前はほとんど意見がなかったため、本日は忌憚のない意見がたくさん出ることを期待し	

ている。

4. 議事

【会 長】 本日の傍聴者は0人である。会議資料及び会議録については原則公開となっている。

(1) 実施施策について

【事務局】 (資料1について説明)

【会 長】 いま説明のあった議事(1)について意見や質問等をいただきたい。

【会 員】 資料2の3ページの自転車通行空間の適切な維持管理について、ナビマーク・ナビラインの整備の維持補修を書いていると思うが、警察の方で整備しているものに対する取り扱いはどう考えているのか。

【事務局】 整備されているナビマーク等については、まずどの主体が整備しているかを確認の上、適切に維持管理を行っていきたい。

【会 員】 他のページでは警察の名前が記載されているが、このページでは関係団体に「警察」を入れないということか。

【事務局】 「警察」の記載については、別途検討する。

【会 員】 資料2の8ページの放置自転車の撤去強化で、土日祝の放置駐輪撤去、365日24時間対応のコールセンターの設置等を今後検討していくとあるが、自転車の放置に関しては、110番通報が多く、警察と区役所が連携して対応している。このコールセンターの設置というのは、具体的にいつから設置というのは決まっているのか。

【事務局】 今年の10月から設置予定で動いている。

【会 員】 資料2の6ページの附置義務駐輪場の設置促進について、附置義務駐輪場の台数にはシェアサイクルは含まれるのか。

【事務局】 現時点では含まない想定である。

【会 員】 資料2の16ページのTSマーク取得者に対する助成金の交付について、交付の実績を知りたい。

【事務局】 前年度の実績で約2,000件である。だいたい2,500件ほどで推移していたが、前年度だけ少し落ちている。

【会 員】 当社グループで、スポーツ自転車の買い取り販売チェーンがあり、TSマークの取得者の数が最近少ないため、台東区の実績の数も少ないのではと思い質問した。

【事務局】 民間の保険が充実してきている理由などから、件数が減っている可能性もある。

【会 長】 資料 2 の 5 ページのパーキングメーター等の撤去については、自転車の通行空間を整備する上で必要なことと思うが、代替となる駐停車スペースを確保するのか。また、パーキングメーター等を無くして大丈夫なのか。

【事務局】 今年度に台東区の別の部署で駐車場の活用に関する計画を立てる予定がある。その中で、路外の駐車スペースの取り扱いについて協議中であり、パーキングメーター等を撤去する際にどのくらい影響があるかについても、これから調整して検討したい。

【会 長】 例えば、5 ページの写真では貨物車の駐停車スペースとなっている。

【事務局】 実際には撤去困難な箇所も多いと考えているが、可能なところについて取り組んでいく。

【会 長】 資料 2 の 7 ページの自転車駐車場の満空情報の提供については、区立のみなのか、民間の駐輪場も含まれるのか。

【事務局】 区立の自転車駐車場のみである。

【会 長】 いま区立の自転車駐車場は何か所くらいあるか。

【事務局】 20 か所程度ある。

【会 長】 可能であれば民間も含めた満空情報の提供ができるとよいと考えられる。

【会 長】 資料 2 の 11 ページの子育て世帯の交通安全ベストの写真がないが、どういうものか。既に配布しているものなのか。また、利用は多いのか。

【事務局】 写真については後日用意するが、蛍光黄色の工事用ベストの子供版のようなものである。また、既に配布しているものである。（配布した）最初のうちは利用されているが、最近は暑くなって見かけなくなっていると思う。

【会 長】 交通安全ベストについては、小学校 1 年生を対象に配布して、何年間か使ってもらおうという意図なのか。

【事務局】 その意図で考えている。

(2) 自転車ネットワーク計画について

【事務局】（資料1について説明）

【会 長】ただいまの議事(2)について意見や質問等をいただきたい。

【会 長】 資料3では、初めに国道と都道を基幹路線にし、それからアクセス路線を決めて、補完路線を決めて、最後は台東区の計画なので区道を整備するという説明だが、どのくらいの距離を整備することになるのか。

【事務局】 暫定でおおよその距離になるが、区道で今後整備が必要になっていく路線が27km程度である。

【会 長】 資料3の7ページの図でいうと、黄色と青色の路線が27km程度という認識で合っているか。

【事務局】 図の赤色の路線にも区道は含まれているため、黄色と青色と赤色の路線のうち未整備の区道について整備をしていく想定である。

【会 長】 自転車道にするのか、自転車専用通行帯にするのか、ナビマークにするのかなど、整備の方法はこれから検討するのか。

【事務局】 実際にどのような手法で整備していくかは、整備するタイミングとその時の道路の環境により、その都度検討していく。

この計画の中で、どの通りをどのような手法で整備していくかまで記載する予定はない。

【会 長】 了解した。この自転車ネットワーク計画は、やはりネットワークとして繋がっていることが非常に重要だと思う。

現在の自転車交通量などのデータも十分に分析しながら進めると思うが、自転車の交通量が多い道路や少ない道路など、その辺の情報等は次回あたりに資料として出てくるか。

【事務局】 実際の交通量については昨年度実施した基礎調査に記載しているため、計画の中で実際にどのように見せるかは今後検討していきたい。

【会 長】 シェアサイクルの事業者から見たときに、現在のシェアサイクルのポートとの関係などがあると考えられるが、今回の自転車ネットワーク計画に対してご意見をお願いしたい。

【会 員】 （当社で保有している）シェアサイクルの通行データと見比べながら聞いていた。現時点では自転車ネットワーク路線に対して特に異論は無い。シェアサイクルユーザーとしては、「車道を走っていいのか歩道を走っていいのか」、あるいは、車道を走るにしても道路上に車が止まっていることなどが、やはり重要になるのかと思う。来年4月から（改正道路交通法

の施行があり)、歩道を走ったら青切符を切られてしまうなど、ユーザーからの声も出てきている。

回答になっていないかもしれないが、資料の計画は分かりやすく、私たち事業者としてもユーザーに広く案内できる体制を作っていかなければいけないと感じて聞いていた。

【会 員】 区内では矢羽根が整備された区間があると思うが、あくまで暫定区間という位置づけであると思うので、その暫定の矢羽根から自転車専用通行帯へ転換された事例があるのかどうか知りたい。

【事務局】 現状の自転車専用通行帯がもともと矢羽根だったかどうかは把握できていない。区道の整備については幅員の問題で自転車専用通行帯の整備はなかなか難しいところがある。そのため、現実的にはナビマーク・ナビラインの整備に今後になっていくと想定している。

【会 員】 資料の施策の中にも載っていたが、パーキングメーターのあり方の問題や、駐停車車両が（自転車走行の）妨げになるケースもあり、その点についてインフラ整備を含めて検討されていると思うので、とても歓迎している。

【会 長】 私はバリアフリー基本構想でも台東区に関わっており、資料 3 の 4 ページでバリアフリー基本構想の生活関連施設も考慮してネットワークをつくるということになっている。やはり高齢者や障害者の方の歩行を妨げないよう自転車は歩道を走らないように車道側へ自転車の通行空間をきちんと整備することは、バリアフリーの視点から大変よいことだと思うので、ぜひよろしく願いたい。

5. その他

【事務局】 次回の意見交換会は、資料 4 のとおり 10 月中旬頃を予定している。

6. 閉会

以上